



【教育目標】 自ら学び正しく判断して行動する国際性豊かな児童生徒の育成を
一人一人が輝く子どもの姿を求めて

☆12月の目標

- ☆学習をがんばろう
- ☆みんなと なかよくしよう
- ☆笑顔で

☆配布物のお知らせ

- 1 学校便り
- ☆保護者の会から

☆今後の行事計画

- 12月2日幼稚部入園募集開始
- 12月16日2学期終業日
- 1月 6日3学期始業日

☆六年二組 私の願い

赤地 理雄

戦争をなくすこと。これが私にとって平和な未来に欠かせないことだと思ふ。そして、平和な暮らしができていない人のために、私は将来、平和な生活を守るために、子供の命や人々の命を救う「ユニセフ」という団体に入りたい。私は、小学三年生くらいの時、テレビでユニセフが活動しているところを見た瞬間、衝撃を受けた。また、黒柳徹子さんの本を読み、活動の内容を知った。そして、その人々のためになにかできることはないのか」と思い始めた。私一人では世界は変わらないかもしれないが、みんなの力を合わせれば世界は変わると信じている。ユニセフに入る入らないかはわからないが、世界の平和を願う気持ちには変わらないだろう。（中略）

今、この瞬間にも世界中のどこかで戦争や貧困で命を落とす人がたくさんいる。私は、その中で多くの命を救いたい。そして、世界の平和を守り、次の世代にも伝えていくことが、未来への大切な「私の願い」なのだ。



☆六年二組 私の願い

富岡 暁

未来がよくなるためには、これからの世の中には、ロボットが必須不可欠だとぼくは思う。理由は、ネットに、昔よりも体に障がいを持つ人が増えて、書くことが書かれていたからだ。ロボットを活用すれば、体に障がいがある人の負担も減るかもしれない。ロボットが力になればみんな幸せになれると思う。たいてい、僕が伝えたいのは、ロボットを使えばいいということではない。なんでもロボット任せにするのではなく、人間の力も必要だということもわかってほしい。人間とロボットとの役割を決めてお互いが助け合う、つまり、できるだけ人間の力を、使いつつ、ロボット力で人間のできないところを補う。それが、ぼくの理想だ。



☆六年二組 私の願い

大橋 菜歩

平和とは、戦争がなく楽しい、幸せだと思えることだと考える。そのためには、人と人が手を取り合い、みんなが戦争をしなないと断言することだと思ふ。

私は、学校で「平和のとりでを築く」という資料を読んだ。この資料は、原爆が投下された広島市にある「原爆ドーム」の話であった。ここで、原爆に恐怖心を感じ、なぜ、同じ人間なのに疑問に思った。原爆は、爆発した一瞬のうちに人々の命を奪っていったからだ。私はなぜ、アメリカが、戦争にかかわらない市民の多い、広島に原爆を落とさせたのか疑問に思った。戦争を早く終わらせるためとはいえ、納得することができなかった。（中略）

人と人が手を取り合い互いに理解して、いくことが、よりよい平和な未来をつくるためには必要なことと思ふ。次の世代の子供たちに平和の大切さをずっと伝え続けていくべきだと思ふ。

☆六年二組 私の願い

片岡 太一

未来がよりよくなるためには、ぼくは、人の気持ちを考えることが大切だと思う。だれもが、一回はけんかをしたことがあると思う。僕も兄弟けんかをしたことがあるが、原因は様々だ。その中で共通することがある。それは、相手よりも先に自分の欲を満たそうとすることだ。例えば、ゲームが一つなのに、二人が遊びたいとすると、けんかとなる。自分が先に遊びたい欲から、そして、けんかすると、どっちも遊べなくなる。悪口もそうである。自分の言われて嫌なことは言わないということが大事である。みんなが人の気持ちを考えることが、大事である。（中略）

今、世の中は平和ではない。日本はある程度平和だが、すべての国がそうとは限らない。そのためにも、ぼくは、刃の気持ちを考え、それを相手に伝えることが大切だと思う。

☆六年二組 私の願い

石川 正弥

僕は、未来がよりよくなるためには、戦争のない世の中が必要と考えます。学校で、戦争について勉強しました。原爆ドームの写真を見たとき、もうこのようなことが起こってはならない。戦争が起これないためには、自分何ができるだろうか。そう考えて、教科書をも一度見直した。戦争は、いろいろなものを一瞬にして奪ってしまう印象が残っている。（中略）

過去に戦争をしたから、今も続いているのだろうか。僕のできることは、教科書で学んだことをみんなに理解してもらえようように未来につなげていきたいと思ふ。

☆六年二組 私の願い

松井 那菜

平和な暮らしがずっと続くことや争いや戦争のない平和な暮らしが、平和への第一歩だと思ふ。それから、みんなが幸せでいることも平和への第一歩だと私は思う。

私は、インターネットで戦争や昔のことを見ました。戦争や悲しいできごとで、人々はその苦難を乗り越えて幸せを得ることができたと思います。今でも、世界には悲しい思いをしている人がいます。ネットで世界を守る仕事をしている男の人を見ました。世界を回って仕事をやっている男の人です。それを見て、私も人々を助ける仕事が見たいと思ひました。(みんなが幸せであることがもっと増やしたいのが、世界を守る仕事と思ひました。(中略)今の平和な暮らしが続く、戦争がなく争いもない世界を築いてほしい。周りの人や世界中の人々が幸せでいることが平和につながり、争いのない未来へとつながっていくと思ひます。

☆六年二組 私の願い

川田 琢磨

もしも、急に親しい人が亡くなったらどう思ひますか。ぼくは、とても悲しいです。戦争のときは、小さい子供や母親がそうでした。ぼくは、とても戦争の話や聞くと思ひます。僕は戦争の話を聞くと悲しいです。僕がこう思つたのは、平和のとりで」を読んだからです。原爆を落とされてすぐたくさんの人が命を落としたり、被爆したりしました。原爆が人を苦しめたかを知りました。争う前に、国と国が話し合うことが大切だと思ひます。

今の世の中が平和かは、わかりませんが、今もどこかで戦争をしているところがあると悲しいです。人と人が理解しあい、平和な世の中が保たれることが大事だと思ひます。

☆五年二組

秋の言葉を使って「俳句」を作ろう

☆赤とんぼ あなたはどこへ 飛んでゆく? 楠本 涼

☆雪のよう 紅葉静かに 山作 井口 明依子

☆渡り鳥 冷たい空に 舞い上がる 江泉 大地

☆赤とんぼ 夕日とかぶり さらに 弓立 綾菜

☆長ズボン まだはかないぞ 露(つゆ)の朝 河野 龍敏

☆青空に とんぼがさわぐ 秋の夜 西川 日菜

☆紅葉の 葉が散り道は カーペツト 飛弾 侑宏



☆六年二組 私の願い

遠藤 由翔

ぼくは、未来がよりよくなるために、地震や台風などの自然災害の予想を今より早くやるべきと思ふ。この自然災害で、毎年たくさんの人たちが亡くなっている。ゲリラ豪雨から守るためには、上流のや天気予報を確認することが大事だと思ふ。地震は、海底にわずかな揺れを感じする装置を張りめぐされていた。(中略) ぼくは、一人一人が自然災害に備えて、準備すること、知識も増やし、災害で命を奪われることのない未来になつたらよいと思ふ。

☆六年二組 私の願い

藤田 華

私は、CNNのニュースを毎日見ている。最近、北朝鮮が日本の方へミサイルを飛ばしているニュースを何度か見た。同じように世界では、今もどこかで争いがある。(中略) 世界には、たくさん国があり、文化言葉、考え方が異なる。お互いを尊重すれば争うことがない。アメリカの学校には、日本の学校と違うところがたくさんある。だからと言って、もめたことはない。違いを認めて理解することが一歩だと思ふ。その一歩が、世界を理解することに繋がっていく。世界中のみんながそう考えれば、ミサイルは飛ばないし、争うこともない。みんながそう考えられるようになってほしい。

☆六年二組 私の願い

江西 絢香

私は笑顔がとても大事なことです。笑顔は、一番最高なことです。きぶんをよくしたり友達を喜ばせたりしてくれます。私はある日、お母さんと公園に行き、ある人と会いました。その人は暗くて全然話しかけてくれませんでした。私は笑いかけてみました。すると、彼女が笑いかけてくれました。それから平気で遊んでいました。私は、笑顔にこんな力があるとは知りませんでした。(中略) 笑顔は、誰もが心がけ次第いつでもどこでもできることです。あなたもやってみませんか、笑顔。

☆六年二組 私の願い

中前 輝大

未来がよりよくなるために、ぼくは、人が人を傷つけるようなことをやめるべきだと思ふ。理由は、同じ人間が人の命を奪ったり、傷つけたりするのは悲しいです。アメリカに来て、事件が多くそう感じました。人を傷つけるということは、憎む気持ちがあるから、事件が起こると思ひます。自分のことばかり考えないで、人のことも考えて行動するべきだと思ひます。人が人をきずつけることが亡くなれば、未来はもっともつと平和で明るい世界になると思ひます。

